

平成 30 年 度

Academic Year 2018

名古屋大学大学院生命農学研究科

博士課程（前期課程）

外国人留学生募集要項

Guidelines for Admission of the Foreign Students
to the Master's Program

名古屋大学大学院生命農学研究科

Graduate School of Bioagricultural Sciences
Nagoya University

名古屋大学大学院生命農学研究科のアドミッション・ポリシー

生命農学研究科は、その研究と教育の基本目標に基づき、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学領域の学術の発展に貢献するとともに、研究活動を通して学生の自発性を重視した大学院教育を実践し、専門的な知識・技術とともに論理的思考力と広い視野を持ち、使命感と勇気をもって困難な課題を解決できる人材の育成を目指しています。このため、「科学英語の基礎的読解力」と「生命農学関連専門科目の基礎知識・理解力と論理的思考力・応用力」を英語と専門科目の学力検査によって、また、「志望する研究分野に対する明瞭な志向と勉学の熱意」及び「その分野に関連する基本的な知識と理解力」を面接・口述試験によって評価し、入学者を選抜します。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって提供された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用します。

また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外に使用いたしません。

Treatment of information on individuals (at Nagoya University)

Any information regarding individuals which has been obtained from application documents, shall be used for the purposes of notifications concerning the application in hand, entrance examinations, announcements of results of entrance examinations, enrollment procedures and any other items subsidiary to these situations. It will also be used for the administration of the school register and for academic records connected with student academic affairs after enrollment. Furthermore, any information obtained concerning individuals will be treated appropriately, and shall never be used for any reason other than its administrative purpose.

平成 30 年度本研究科博士課程の前期課程に入学させる外国人留学生を下記により募集する。

1. 出願資格

次の各号の一に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 外国において学校教育における 15 年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 22 歳に達している者

(注) 出願資格(9), (10)により出願する者は、あらかじめ本研究科教務学生係へ照会し、所定用紙を平成 29 年 10 月 6 日（金）（郵送の場合必着）までに提出すること。

2. 募集人員 若干名

3. 専攻及び講座

専攻	講座
生物圏資源学	循環資源学, 資源生産生態学, 地域資源管理学, 生物材料科学, 生態システム保全学
生物機構・機能科学	バイオダイナミクス, 分子細胞機構学, 生物機能分化学, 資源生物機能学

応用分子生命科学	バイオモデリング, 生命機能化学, 応用生命化学, 応用遺伝・生理学
生命技術科学	生物機能技術科学, 生命技術社会システム学, 生物生産技術科学, 分子細胞機能学, 植物機能開発学, 生命技術国際協力学

4. 志望専攻及び講座について

志望専攻・講座については、研究分野から選択すること。

(講座・研究内容及び教員一覧参照)

なお、専攻・講座・研究分野の志望は第2志望まで認められ、第2志望はいずれの専攻・講座・研究分野からでも選ぶことができる。

5. 出願期間

平成29年11月28日(火)から12月1日(金)(郵送の場合は必着)まで

受付時間 9時から16時まで(12時から13時は除く)

6. 出願書類

提出書類	
(1) 入学志願票, 写真票及び受験票	本研究科所定の用紙
(2) 履歴書(外国人用)	本研究科所定の用紙(日本国籍を有しない者のみ提出。ただし、日本の大学を卒業又は卒業見込みの者は不要。)
(3) 写真	出願前3か月以内に撮影のものを、写真票に貼付すること。
(4) 成績証明書	学部(教養課程を含む)の成績を証明するもの ※中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと。
(5) 学位証明書(卒業証明書)あるいは卒業見込証明書	※中国の大学を卒業した者は下記注意事項を参照のこと。
(6) TOEFL または TOEIC のスコアシート	必ず3頁の「8. 考査実施方法」の「(3) 外国語(英語)試験におけるスコアシートの提出」を参照の上提出すること。
(7) 在留カードの写し(両面)	日本国籍を有しない者のみ提出(日本国永住許可を得ている者を除く。)
(8) 入学検定料	30,000円 郵便普通為替で納入すること。購入方法の詳細は下記郵便局ホームページにて確認して下さい。 http://www.post.japanpost.jp/bank/exchange/ なお、指定受取人住所・氏名欄は記入しないこと。
(9) 領収証書(控)・領収証書	本研究科交付の所定用紙に氏名のみ記入のこと。
(10) あて名票	本研究科交付の所定用紙
(11) 受験票返送用封筒	本研究科指定の封筒に受験票を必ず受け取ることができる住所を記入の上362円切手を貼付すること。

※ 中国の大学卒業者は、平成 29 年 12 月 1 日(金)までに中国政府機関直轄の財団である『中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGDC)』から名古屋大学大学院生命農学研究科(登録コード: C900808)へ直接認証書が送付されるよう手続きをしてください。認証書が 12 月 1 日(金)までに届かない場合は、書類不備のため出願を受け付けません。

出願者本人が受取り、自身で大学に提出した証明書は原則として無効です。手続きには、出願者本人が学位証(もしくは卒業証書)及び成績証明書を CDGDC に送付し、所定の手数料を支払うことが必要です。証明書は、必ず「英文」で発行願います。(英文以外は、受け付けません。)また、本学に認証書が送付されるまで 1 ヶ月以上かかりますので、前もって手続きをしてください。

詳細については CDGDC のホームページ(<http://www.cdgdc.edu.cn>)で確認してください。

なお、過去 1 年以内に CDGDC を通じて本研究科に当該書類を提出した者は、教務学生係に相談すること。

7. 出願手続

出願者は、6.の提出書類を添えて出願期間内に本研究科に提出すること。
なお、出願手続後の書類の書き換え及び検定料の払い戻しはできない。

8. 考査実施方法

(1) 筆記試験日時

科目	日	時	備考
専門科目	1月4日 (木)	10時00分から 13時00分まで	全 専 攻

(2) 筆記試験科目及び選択方法

専門科目

別紙「筆記試験科目及び選択方法(専門科目)」による。

(注) 出願時に申請した専門科目は変更できないので留意すること。

(3) 外国語(英語)試験におけるスコアシートの提出

外国語(英語)の試験については、TOEFL または TOEIC のスコアによる判定を行う。(出願期間を考慮して余裕をもって受験すること。)

① 試験の方法

TOEFL または TOEIC あるいは両方のスコアシートを提出すること。筆記試験は実施しない。TOEFL または TOEIC の得点は以下の方法で算出したものを外国語得点として採用する。TOEFL 及び TOEIC 両方のスコアシートを提出した場合は換算後、いずれか高い方の得点を採用する。

■ TOEFL を利用した場合：

英語得点 = $50 + (\text{TOEFL-iBT スコア} - 50) \times 5/3$ (100 点以上は 100 とする)

■ TOEIC を利用した場合：

英語得点 = $\text{TOEIC スコア} / 10$

※ ただし換算された英語得点が 50 点未満の場合は不合格となる。その場合でも検定料の返還は行わないので注意すること。

② 対象となるスコア

TOEFL-iBT および TOEIC 公開テストのいずれかの試験の成績を採用する。団体用の TOEFL-ITP および TOEIC-IP テストは認めない。なお、留学生で TOEIC-PBT のスコアを有している者は予め教務学生係に相談すること。

③ スコアシートの提出

TOEFL については、「Examinee Score Report」（受験者用控えスコア票）の原本を出願時に提出すること。TOEIC については、「Official Score Certificate」（公式認定証）の原本を 出願時に提出すること。

※TOEFL の「Examinee Score Report」（受験者用控えスコア票）の原本の返却を希望する者は、封筒〔長形 3 号 12×23cm〕にあて名を書き、切手（362 円）を貼付のうえ提出すること。
（出願書類を郵送する者は、受験票の送付用封筒とは別に提出すること）
なお、TOEIC「Official Score Certificate」（公式認定証）の返却は行わないので注意すること。

④ スコアシートの有効期限

入学試験実施日から過去 2 年以内（平成 28 年 1 月 4 日以降）に実施され、出願時に提出可能なものを有効とする。

(4) 試 験 場

名古屋大学大学院生命農学研究科（農学部） 市バス「名古屋大学」、地下鉄「名古屋大学」駅下車、
又は地下鉄「東山公園」駅下車南へ 500m

(5) 第 1 次合格者発表

1 月 4 日(木)18 時頃、本研究科の掲示板に掲示する。

第 1 次合格者については、口述試験を行う。

(6) 口 述 試 験

1 月 5 日(金)9 時から各専攻別に第 1 志望の講座を中心に行う。

第 2 志望講座の口述試験が必要と判定された者に対し、1 月 5 日(金)15 時から各専攻別に第 2 志望の講座を中心に行う。なお、該当者については、1 月 5 日(金)14 時頃掲示板に掲示する。

9. 合格者発表

1 月 5 日(金)夕刻、本研究科の掲示板に掲示し、生命農学研究科ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/>) に掲載する。後日郵送にて本人あて通知する。

10. 入学手続

(1) 入学手続については、平成 30 年 3 月初旬までに本人あて通知する。

(2) 入 学 料 282,000 円 (予定額)

(3) 授 業 料 前期分 267,900 円 (予定額)
(年 額 535,800 円 (予定額))

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(4) 入学手続日は、平成 30 年 3 月下旬の予定

11. 注意事項

- (1) 募集要項を郵送で請求する際は、返信用封筒(定形外の角形2号封筒(33×24cm)にあて名を明記し、250円分の切手貼付のもの)を同封すること。
- (2) 考査実施の細部については、試験当日掲示する。受験者は試験開始20分前までに試験室に入ること。
- (3) 障がいのある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、平成29年10月31日(火)までに、教務学生係に相談してください。

なお、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までにお問い合わせください。

12. その他

入学試験についての照会先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係
電話 (052) 789-4967・4299
E-mail : kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

平成29年9月

名古屋大学大学院生命農学研究科
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

◇ 生命農学研究科受験生向けホームページ

URL http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/j_daigakuin.html

◇ 連絡窓口

名古屋大学農学部・生命農学研究科 教務学生係
TEL 052-789-4967・4299



講座・研究内容及び教員一覧

名古屋大学大学院生命農学研究科

専攻	講座	研究分野	研究内容	教員			
				教授	准教授	講師	助教
生物圏資源学	1. 循環資源学	1. 循環資源学 2. 土壌圏物質循環学 3. 循環資源利用学	水ストレス、塩ストレス耐性などに関わる生理・分子機構 土壌圏を中心とした環境中における炭素、窒素、微量元素の動態に関する研究、腐植物質の化学。 樹木抽出成分の単離・構造決定、生合成、分布および利用。	山内 章 渡邊 彰	今井 貴規	三屋 史朗	仲田 麻奈***
	2. 資源生産生態学	4. 作物科学 5. 資源植物環境学 6. 森林環境資源学 7. 森林生態生理学	作物生産の生理・生態学的解析、とくに環境応答・資源獲得に関する研究。 資源植物の構造と機能およびその環境応答機構に関する超微形態学的・生化学的・分子生物学的研究。 個体レベルの樹木生理学的メカニズムの解明から地理情報システム及びリモートセンシング技術を用いた広域的な資源評価まで、幅広い視点からの環境変化が森林生態系に与える影響に関する研究。 森林群集・樹木個体群の構造と動態、多様性、繁殖生態、生理生態、物質生産に関する生態学、集団遺伝学、分子生態学、生理生態学の研究。	近藤 始彦 谷口 光隆 竹中 千里 戸丸 信弘	矢野 勝也	山本 一清 中川 弥智子	杉浦大輔 大井 崇生 富岡 利恵
	3. 地域資源管理学	8. 森林資源利用学 9. 森林気象水文学	途上国の森林保全と地域住民の生計向上をめざした森林管理政策、地域住民を対象とした森林認証制度、参加型森林管理に関する研究。 生物圏における水・エネルギー・炭素循環の解明、森林構造と気象環境の関係および生物群集と自然災害に関する研究。	原田 一宏 太田 岳史	田中 隆文		近藤 稔 (平成30年3月退職予定) 砂野 唯(平成30年3月満了予定)*** 小谷 亜由美
	4. 生物材料科学	10. 生物材料工学 11. 生物材料物理学 12. 生物システム工学 13. 森林化学	木材・木質材料の構造利用における力学的耐久性、木質構造の力学挙動解析、森林資源の材質分布と需給計画、木質による都市環境デザインなどに関する研究。 樹木の成長過程と成長応力及び材質発現機構、熱帯造林樹種の成長と木部成熟特性、木質形成の分子生物学、生物材料の水分・熱および力学特性。 生物資源を対象とした計測システムおよび精密機械プロセスに関する研究。 木質化の生化学、抽出成分の化学、リグニンの化学、リグニン機能性物質の調製、製紙科学、セルロースの化学に関する研究。	佐々木 康寿 (平成30年3月退職予定) 山本 浩之 土川 覚 福島 和彦	山崎 真理子 吉田 正人 横地 秀行 (平成30年3月退職予定) 松下 泰幸	松尾 美幸 稲垣 哲也 青木 弾	安藤 幸世
	5. 生態システム保全学	14. 森林保護学	森林や里山など緑域環境における生物群集の存在様式や生物間相互作用、生態系保全に関する研究。	肘井 直樹	梶村 恒		土岐和多瑠

*** 特任助教

(平成29年10月1日現在)

講座・研究内容及び教員一覧

名古屋大学大学院生命農学研究科

専攻	講座	研究分野	研究内容	教員								
				教授	准教授	講師	助教					
生物機構・機能科学	6. バイオダイナミクス	15. 細胞ダイナミクス	膜輸送システムと生体膜情報変換システムの分子構造・作動機構・細胞特異性および生理機能の研究。	前島 正義 (平成31年3月退職予定)	河内美樹 (兼務平成31年3月満了予定)		中西 洋一 瀬上紹嗣***					
		16. 生物相関防御学	植物-病原菌相関で誘導される植物免疫の分子機構に関する研究。					吉岡 博文				
	7. 分子細胞機構学	17. 応用微生物学	真核生物の情報伝達と遺伝子発現制御機構について、主としてカビを材料として分子遺伝学的、化学遺伝学的な面から解析を行なっている。	小林 哲夫	木村 眞	金丸 京子	前尾 健一郎 蜂谷卓士*** 田畑亮***					
		18. ゲノム情報機能学	クロロフィル生合成・窒素固定・概日リズム・ホルモン情報伝達の調節機構に関する研究を、主としてシアノバクテリア・植物を材料として、生化学的、細胞分子生物学的、分子遺伝学的観点から行っている。	藤田 祐一	山篠 貴史	石黒 澄衛						
		19. 生物化学	栄養などの環境変化に応答した植物の器官分化・成長調節機構について、特に植物ホルモン作用の果たす役割に焦点を当て、生化学的、分子遺伝学的な手法により研究している。	榑原 均	小俣 達男			前田 真一				
		20. 植物分子生理学	光合成生物におけるCO ₂ ・NO ₃ ⁻ の同化とクロロフィル生合成の制御機構を遺伝子・タンパク質レベルで研究している。	森田(寺田) 美代					橋本(杉本)美海			
		21. 植物環境応答	植物における環境変化の感知と応答の分子機構について、重力屈性を中心に分子遺伝学・細胞生物学・生理学的研究を行っている。									
	8. 生物機能分化学	22. 害虫制御学	生理生化学・分子生物学的アプローチを通じた農業害虫の制御法開発に関する研究。				池田 素子			三浦 健	水口 智江可	山田 早人
		23. 資源昆虫学	昆虫ウイルスの増殖機構とウイルスと宿主昆虫との相互作用、昆虫の抗ウイルス応答機構についての研究。			山本 直之						
		24. 水圏動物学	水産動物の神経系、感覚器、運動器に関する形態学的、生理・生態学的、進化的行動学的研究、ならびにペプチドニューロンによる感覚・神経系～行動の持続的制御に関する神経生理学的研究。		本道 栄一			大森 保成 (平成31年3月退職予定)				
	25. 動物形態情報学	哺乳類および鳥類の神経統御と生殖制御に関する器官を中心とした生体構造の機能形態学的研究。										
	9. 資源生物機能学	26. 園芸科学	園芸作物の生産性向上のためのバイオテクノロジーおよび生理学・生化学・分子生物学的研究。特に、花器官の形成、開花、花色に関する生理、また、果実の結実生理および糖や二次代謝産物などの物質蓄積の解明とその制御。	松本 省吾		白武 勝裕	太田垣 駿吾 野田口 理孝****					
27. 植物病理学		植物病原体の感染に対する植物の生体防御機構、植物病原体や有用微生物と植物の相互作用に関する生理学・生化学・分子生物学的研究。それらの成果を基盤とした生物防除法の開発に関する研究。	川北 一人	竹本 大吾 千葉 壮太郎*	佐藤 育男							
28. 土壌生物化学		水田生態系各部位に生息する生物群集の構造・特性と機能および生物間の相互作用に関する研究。	浅川 晋	村瀬 潤		渡邊 健史						
29. 植物遺伝育種学		栽培植物の系統分化、形態形成、遺伝子発現および新機能開発に関する発育遺伝育種学的並びに生物工学的研究。	中園 幹生			高橋 宏和						

* 特任准教授
***特任助教
****卓越研究員

(平成29年10月1日現在)

講座・研究内容及び教員一覧

名古屋大学大学院生命農学研究科

専攻	講座	研究分野	研究内容	教員			
				教授	准教授	講師	助教
3. 応用生命科学	10. バイオモデリング	30. 天然物ケミカルバイオロジー	生物現象を司る天然物の単離、構造決定、合成、作用機序に関する研究。哺乳動物由来の麻痺性神経毒や、海洋生物の共生現象鍵物質に関する研究。蛍光プローブを用いた新たな標的分子の解析法の開発。	北 将樹			
		31. ゲノム・エピゲノムダイナミクス	脊椎動物におけるトランスポゾンや遺伝子のエピジェネティック制御機構の研究。生殖細胞形成期のエピゲノム制御機構の研究。種間および種内でのエピゲノムやゲノムの比較解析を通じた、ゲノムとエピゲノムの相互作用に関する研究。	一柳 健司			
	11. 生命機能化学	32. 生物有機化学	特異な化学構造と生物活性を示す天然有機化合物の生物有機化学的研究：新しい有機合成反応・合成方法論の開発、天然有機化合物の全合成研究と生物機能の解析・制御に関する研究。	西川 俊夫	中崎 敦夫	安立 昌篤	
		33. 生理活性物質化学	植物、微生物、海洋生物などが生産する生理活性天然物質の同定、作用機構、生合成、受容体に関する研究。	小鹿 一	中川 優	近藤 竜彦	
		34. 食品機能化学	食と健康をキーワードとした基礎研究、特に生活習慣病に関連した内因性因子としての酸化ストレス、及び外因性環境因子としての機能性食品に関する研究。		柴田 貴広		
		35. 高分子生物材料化学	糖鎖高分子、生物機能高分子、生分解性高分子、植物由来高分子およびこれらを活用した医用高分子の設計、精密合成、機能発現に関する研究。生物学的機能を有するバイオマテリアルの創出。	青井 啓悟	野村 信嘉		
	12. 応用生命化学	36. 生体高分子学	ピリドキサル酵素やフラビン酵素の構造機能相関。D-アミノ酸の生理作用と代謝関連酵素に関する研究。古細菌の脂質合成に関する研究。環境微生物からの有用遺伝子スクリーニング技術の開発。	吉村 徹	邊見 久	伊藤 智和	
		37. 分子細胞制御学	動物細胞の成長・分化・細胞死における情報伝達や細胞内輸送、小胞体を経由しない細胞外分泌、遺伝子発現制御に関する生化学的および分子細胞生物学的研究。	牧 正敏 (平成31年3月退職予定)	柴田 秀樹		高原 照直
		38. 分子生体制御学	高等動植物における蛋白質、核酸や複合糖質の生合成と生体内での動態、および免疫、受精・発生、細胞増殖・分化などにおける作用機構の生化学・分子細胞生物学的研究。	松田 幹	灘野 大太		大島 健司
	13. 応用遺伝・生理学	39. 栄養生化学	栄養素(主にタンパク質・アミノ酸)による酵素および遺伝子発現の制御機構。3次元培養による肝臓特異的遺伝子発現の制御機構に関する研究。肝臓の概日リズムのメカニズムと時間栄養学。分岐鎖アミノ酸の代謝と生理機能。	下村 吉治 (平成31年3月退職予定)	小田 裕昭	北浦 靖之	
13. 応用遺伝・生理学	40. 動物機能制御学	脊椎動物(哺乳類、鳥類、魚類)の季節適応機構と概日時計機構の解明。季節繁殖や概日時計の制御を通じた動物生産性の向上とヒトの健康の増進に関する研究。ニワトリにおける成長制御と成長因子発現調節に関わる研究。	吉村 崇	大川 妙子	中根 右介**	塚田 光	
	41. 動物栄養情報学	代謝性疾患(2型糖尿病など)の原因遺伝子と栄養学的制御因子の解明。ビタミンCの新たな生理機能の探求。鳥類卵胞における物質輸送機構の解明(主に抗体輸送を中心にして)。穀物飼料資源の生理的機能性の探求。	堀尾 文彦	村井 篤嗣	小林 美里		
	42. 動物遺伝制御学	動物の様々な遺伝現象の分子基盤とゲノム・染色体進化の研究、動物遺伝資源の評価と保全・利用、ヒト疾患および生物機能研究用モデル実験動物の開発・育成、量的形質の遺伝子支配の解明に関する研究。	松田 洋一	石川 明		山縣 高宏	

**特任講師

(平成29年10月1日現在)

講座・研究内容及び教員一覧

名古屋大学大学院生命農学研究科

専攻	講座	研究分野	研究内容	教員			
				教授	准教授	講師	助教
生	14. 生物機能技術科学	43. 産業生命工学	真核生物における膜輸送体タンパク質、細胞外マトリックスタンパク質の生理機能と情報伝達に関する研究。	森 仁志 中野 秀雄 東村 博子	MATURANA Andrés Daniel	新美 友章	DAMNJANOVIC, Jasmina
		44. 分化情報制御	高等植物の生長, 分化における形質発現に関する生化学的・分子生物学的研究。		伊藤 正樹		
45. 分子生物工学		新規な生物機能分子, 生物反応プロセス, 解析システムを創成することを目的とした生物工学的研究。	岩崎 雄吾		兒島 孝明		
46. 生殖科学		生殖機能の制御メカニズムに関する神経内分泌学的基礎研究とそのメカニズムを利用した畜産や創薬への応用研究。	上野山 賀久		井上 直子		
命	15. 生命技術社会システム学	47. 食糧生産管理学	食料・農業問題に関する社会科学研究および地域資源管理、農業の多面的機能に関する学際的研究。		竹下 広宜		三浦 聡
	16. 生物生産技術科学	48. 植物生産科学第1	植物生産にかかわる微生物の機能とその制御に関する研究。	柘植 尚志			西内 俊策
		49. 植物生産科学第2	イネのもつ遺伝的多様性や情報通信技術を農業生産に活用するための応用研究。		土井 一行		
50. 動物生産科学第1		反芻家畜の生理機能の調節機序に関する基礎研究とその機能を利用した動物生産にかかわる応用研究。	大蔵 聡				
術	17. 分子細胞機能学	51. 動物細胞機能	受精, 発生, 神経機能, 免疫現象における細胞表面糖鎖が関与する細胞間相互作用と情報伝達に関する研究。	北島 健	佐藤 ちひろ		
		52. 高次生体分子機能	高等植物における環境適応と生存戦略に関する分子生物学的研究。	芦苺 基行			
		53. 植物細胞機能	高等植物の成長・分化制御とその環境情報応答に関する研究。	服部 束穂	上口 智治 武田 真		
科	18. 植物機能開発学	54. 植物分子育種	高等植物の形態形成、器官形成、植物ホルモンの信号伝達に関する生理学的・分子生物学的研究、及びそれを活用した分子育種学的研究。	松岡 信	佐塚 隆志		
		55. 有用農業形質保存	有用農業形質についての資源保存及び形態形質に関する分子遺伝学的研究。	北野 英己 (平成31年3月 退職予定)	上口 美弥子		
学	19. 生命技術国際協力学	56. プロジェクト開発	開発途上国が直面している貧困, 食料不足, 環境破壊など農学領域の問題を, 国内外の大学・研究機関と協力して, 実践的人づくりを通じて解決することを目的とした研究。		伊藤 香純 犬飼 義明		
		57. 協力ネットワーク開発	開発途上国の作物生産にかかわる課題解決および技術開発に関する研究。	江原 宏	槇原 大悟		

(平成29年10月1日現在)

筆記試験科目及び選択方法（専門科目）

専門科目	内 容 と 選 択 方 法
1 応 用 数 学	
2 材 料 力 学	
3 物 理 化 学	<内容>
4 有 機 化 学	専門科目の内容については生命農学研究科のホームページを参照すること。
5 生 物 化 学	http://www.agr.nagoya-u.ac.jp
6 遺 伝 学	
7 微 生 物 学	
8 細 胞 生 物 学	
9 植 物 生 理 学	
10 動 物 生 理 学	専門科目（1～24）の中から2科目選択すること。
11 動 物 形 態 学	
12 昆 虫 科 学	
13 生 態 学	注：応用分子生命科学専攻で生命機能化学講座を志望する者は、専門科目（3, 4, 5, 7, 18）の中から2科目選択することが望ましい。
14 水 文 学	
15 土 壌 学	
16 森 林 資 源 学	
17 バイオマス科学	
18 天然高分子化学	
19 植物生産科学	
20 動物生産科学	
21 水産動物学	
22 植物保護学	
23 農業経済学	
24 国際農学	

「入学志願票」・「写真票」・「受験票」に受験予定専門科目を記入すること。
出願時に申請した専門科目は変更できないので留意すること。

Information for applicants for admission to the Master's Program, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, beginning in April 2018

1. Requirements for applicants:

Foreign applicants for admission to the Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University must have obtained official approval to study in Japan under the Japanese Immigration Control Law*1, and must come under one of the following conditions:

- (1) Applicants who have graduated (or will graduate by March 31, 2018) from a Japanese university or college.
- (2) Applicants who have been awarded (or will be awarded by March 31, 2018) a Japanese official bachelor's degree.
- (3) Applicants who have completed (or will complete by March 31, 2018) the 16-year course of formal education in their homeland or other country.
- (4) Applicants who have completed (or will complete by March 31, 2018) the 16-year course of formal education in a foreign country, by taking Japan the correspondence courses offered by the schools and universities in a foreign country.
- (5) Applicants who have completed (or will complete by March 31, 2018) in Japan one of the relevant courses at an educational institution that is recognized by the authorities of a foreign country as an institution offering undergraduate courses to finish the 16-year course of formal education of the country and is approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan.
- (6) Persons who have been conferred, or expect to be conferred by March 31, 2018, a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or have been separately designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and graduated from a program that requires 3 or more years to complete (Includes graduating from a program implemented by the relevant overseas school while living in Japan through distance learning, as well as graduating from a program implemented by an educational facility established with the relevant overseas country's school education system and has received the designation mentioned above).
- (7) Applicants who have completed (or will complete by March 31, 2018) an advanced professional course of a professional training college. The course must fulfill the requirements set by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (e.g., offering a minimum of four years of education) and be recognized by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, as such. Applicants must have graduated from the course after the date of approval by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (8) Applicants who have been approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, (1953 Ministry Bulletin Vol.5).
- (9-1) Applicants who have completed 15-year course of formal education in a foreign country. It needs to be recognized by this Graduate School that the applicants have earned the necessary credits with satisfactory grades.
- (9-2) Applicants who have completed in Japan one of the relevant course at an educational institution that is recognized by the authorities of a foreign country as an institution offering undergraduate courses to finish the 15-year course of formal education of the country and is approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan. It needs to

be recognized by this Graduate School that the applicants have earned the necessary credits with satisfactory grades.

NOTE: If necessary to be recognized by this Graduate School, applicants must ask the Office of Student Affairs (see 11. (4)) for the details and submit the required documents by or on Friday, October 6, 2017.

(10) Applicants who are recognized by the Graduate School of Bioagricultural Science, Nagoya University to be equivalent in academic level to those graduating from a Japanese university*2 .

NOTE: *1:Applicants who have not obtained official approval by the time of application must obtain official approval before starting enrollment procedures.

*2:If necessary to be recognized by this Graduate School, applicants must ask Student Affairs Section(see 11.(4)) for details and submit the required documents by or on Friday, October 6,2017.

2. Maximum number of enrollment: A several

3. Academic Department/Division offering master' program

Department	Division
Biosphere Resources Science	Resources Cycling System, Bioresource Production and Agroecology, Regional Resources Management, Biological Material Sciences, Ecosystem Conservation
Biological Mechanisms and Functions	Biodynamics, Molecular and Cellular Biology, Biofunctions Development, Bioresource Functions
Applied Molecular Biosciences	Biomodeling, Biofunctional Chemistry, Applied Biochemistry, Applied Genetics and Physiology
Bioengineering Sciences	Biotechnology, Socioeconomic Science of Bioagriculture, Plant and Animal Production, Molecular Cell Function, Plant Genomics, International Cooperation in Agricultural Sciences

4. Department/Division selection of applicants

Applicants are allowed to make two choices.

(1) The applicant's field of study must be chosen for the first choice of department/division.

NOTE: See "List of Laboratories, Area of Research, and Staff."

(2) The second choice can be among any department, division or laboratories.

5. What to prepare for application

(1)Application form/ID photo card/examination registration card	NOTE: Use each prescribed form.
(2)Personal History for Foreign Applicants	NOTE: Needed only for applicants who are of non-Japanese nationality, excluding those who graduated from or are expected to graduate from Japanese universities. Use the prescribed form.
(3)A photo	A photo taken within the last three months, affixed to ID photo

	card.
(4)Academic Transcripts*	The original copy of official transcript from the undergraduate school (including liberal arts) the applicants has attended.
(5)Certificate of (Prospective) graduation*	Diploma or certificate of graduation or expected graduation from a university.
(6)TOEFL or TOEIC score sheet	See Page 10, “8. Examinations”, Item (3) “Submission of score sheets for foreign language (English) examination” for details.
(7) A photo Copy of Residence Card (both sides)	NOTE: Needed only for applicants without Japanese nationality, excluding those with official approval of permanent residency in Japan.
(8) Application fee (30,000 yen by postal money order)	NOTE: Do not fill out the address/name for specified receiver on the postal money order from. http://www.post.japanpost.jp/bank/exchange/
(9)Certificate of receipt	NOTE: Use the prescribed form, writing only applicant’s name.
(10)Name/ address card	NOTE: Use the prescribed form.
(11)Return envelope(For the receipt of the Examination Form)	Submit self-addressed envelope with the Applicant’s address, postal code, and name clearly indicated. Affix a 362 yen stamp to the envelope.

* For applicants who have graduated from a university and graduate school in China, the required certificates must be submitted to the Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University (Code number: C900808) through China Academic Degree and Graduate Education Development Center (CDGDC) by or on Friday, December 1, 2017. The applications will be rejected unless the certificates reach our office by or on Friday, December 1, 2017. Certificates submitted directly to our office by the applicant will not be accepted.

Applicants must send their diploma (or certificate of university graduation) and their academic transcript to CDGDC and pay the required fee to CDGDC. The documents must be written in English (those written in languages other than English will not be accepted). Note that it takes more than one month for the documents to reach our office from CDGDC. Applicants should be aware of this and prepare the documents well in advance.

The details of the process can be verified on CDGDC website (<http://www.cdgdc.edu.cn>).

The applicant who has submitted the required certificates to our office through CDGDC within the past one year, should consult with us.

6. Application Procedures.

The completed application form and required items (1) ~ (11) listed above must be submitted to the Office of Student Affairs, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, from 9:00 a.m. till noon and from 1:00 to 4:00 p.m. from Tuesday, November 28 to Friday, December 1, 2017.

(Applications can also be sent by mail to our office. Address: Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601 Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University)

When sending by mail, indicate on the envelope “Application for Graduate School” in red ink. It must reach this Office by December 1, 2017 by registered mail.

7. Notice

The applicant cannot make any changes or ask for a refund after submitting the application form. Applicants who are residing in a country other than Japan should consult the Office of Student Affairs before submitting documents.

8. Examinations

(1) Written examinations

Type	Date	Time
Subjects in Major	Thursday , January 4	10:00-13:00

(2) Subjects & Selection of Written Examinations

Subjects in Major

NOTE: See the attached “Examination Subjects and Instructions for Subject Choice”.

Notice for subject choice. You cannot change subjects that you have described in the application form.

(3) Submission of score sheets for foreign language (English) examination

TOEFL or TOEIC scores will be used as the means of assessment for the foreign language (English) examination.

1. Examination Method

Submit the score sheet for the results of TOEFL, TOEIC or both. There will be no written examination. The score from either TOEFL or TOEIC will be calculated using the following method, and will be adopted as your foreign language (English) score.

If the applicant submits both TOEFL and TOEIC scores, these will be converted and the higher score will be adopted.

■ For TOEFL

English score = $50 + (\text{TOEFL-iBT score} - 50) \times 5/3$ (converted scores of 100 points or higher will all be treated as 100 points)

■ For TOEIC

English score = TOEIC score / 10

*Any converted score of less than 50 points will count as a failing score. In this case, please be aware that the application fee is still non-refundable.

2. Eligible scores

Scores from either TOEFL-iBT or TOEIC Secure Program (SP) tests can be submitted.

Scores from group TOEFL-ITP and TOEIC Institutional Program (IP) tests are not accepted. International applicants with TOEIC-PBT scores should consult the Student Affairs Section before submitting documents.

3. Submission of score sheet

For TOEFL, an original of the Examinee Score Report should be submitted with the application documents by December 1, 2017.

For TOEIC, an original of the Official Score Certificate should be submitted with the application documents by December 1, 2017.

*TOEFL the Examinee Score Report can be returned if a self-addressed envelope (12×23cm) is

enclosed, with a 362 yen stamp affixed. TOEIC Official Score Certificates cannot be returned.

4. Period of validity of score sheets

Tests from 2 years before the entrance examination date (i.e. January 4, 2016, or later) to those for which results can be submitted by the application deadline are valid.

- (4) Place of Examination: Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University
(School of Agricultural Sciences)
500m eastward from the city bus stop “Nagoyadaigaku”
or the subway station “Nagoyadaigaku” southward from
the subway station “Higashiyama-koen”

(5) Announcement of written examination results

Date: Thursday, January 4(18:00)

Place: Noticed board at Graduate School of Bioagricultural Sciences

NOTE: Applicants passing this examination must take the oral examination next.

(6) Oral examination

Time/Date: 9:00, January 5 (Fri)

Applicants must take the oral examination given by the department/division of their first preference.

If it is judged that an applicant needs to take an additional oral examination given by the department/division of his/her second preference, the second examination will start at 15:00 on the same day. The list of applicants who must take the additional examination will be posted on the Notice Board at the Graduate School of Bioagricultural Sciences around 14:00.

9. Announcement of final examination results

(1) Date: Friday, January 5 (evening)

(2) Place: Notice board at the Graduate School of Bioagricultural Sciences (It will be posted on Graduate School of Bioagricultural Science website: <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>)

NOTE: Applicants will also be notified by mail.

10. Enrollment Procedures

(1) Detailed enrollment procedures will be notified by mail early in March, 2018.

(2) Registration fee: 282,000 yen (expected)

(3) Tuition: 267,900 yen per semester (535,800 yen per year) (expected)

NOTE: In case of any revision in tuition, the new rate will be made effective on and after the date of revision.

(4) Registration date: The matriculation date is scheduled to be in late March 2018.

11. Others

(1) Applicants requesting for this “Guidelines for Admission” booklet by mail, must enclose a self-addressed return envelope (33×24cm) with a 250 yen stamp affixed.

(2) Further notifications for the examination will be given on the notice board on the date of

examination. Examinees must be seated in the examination room 20 minutes before the examination starts.

(3) Handicapped students and others who require special arrangements for testing and for taking courses should consult with us until October 31, 2017 (Tuesday).

(4) For more information on the examinations, ask:

Student Affairs Section,
Graduate School of Bioagricultural Sciences,
Nagoya University
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601
TEL: (052) 789-4967 (English) ,789-4299 (Japanese)
E-mail: kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

< Changes in examination schedule and procedures due to unforeseen circumstances >

The examination schedule and selection measures may be modified in the event of an outbreak of infectious disease or other unforeseen circumstances. Please check the website regularly for the latest notices, especially in the days preceding the application and examination periods.

■ Website of Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University
(Admission Information)

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/english/admission/index.html>



■ Contact info:

Student Affairs Section, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University
Tel (052)789-4967 (English) ,789-4299 (Japanese)

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Department	Division	Laboratory	Area of Research	Staff				
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor	
1. Biosphere Resources Science	1. Resources Cycling System	1. Biosphere Resources Cycling	Physiological and molecular mechanism of crop stress tolerance	YAMAUCHI, Akira	IMAI, Takanori	MITSUYA, Shiro	NAKATA, Mana***	
		2. Resources Cycling in Pedosphere	Dynamics of carbon, nitrogen, and trace elements in pedosphere and related environments. Chemistry of humic substances.	WATANABE, Akira				
		3. Biomass Resource Utilization	Isolation and structural elucidation, biosynthesis, distribution and utilization of wood extractives.					
	2. Bioresource Production and Agroecology	4. Crop Science	Physiological, ecological studies on crop production: nutrient acquisition and growth response to environment.	KONDO, Motohiko	YANO, Katsuya		SUGIURA, Daisuke	
		5. Plant Resources and Environment	Studies at ultrastructural and molecular levels on structure, function and environmental response of plant resources.	TANIGUCHI, Mitsutaka			OI, Takao	
		6. Forest Environment and Resources	Effects of environmental changes on forest ecosystems from viewpoints of physiological mechanisms in individual trees and of assessment of forest resources using a GIS system and a remote sensing technique.	TAKENAKA, Chisato	YAMAMOTO, Kazukiyo		TOMIOKA, Rie	
		7. Forest Ecology and Physiology	A wide range of research themes closely relating to forest ecology, forest genetics, and tree ecophysiology.	TOMARU, Nobuhiro	NAKAGAWA, Michiko	OGAWA, Kazuharu		
	3. Regional Resources Management	8. Forest Resources Utilization	Studies on forest management policy for realizing both forest conservation and local livelihoods increase, forest certification and participatory forest management in developing countries	HARADA, Kazuhiro			KONDO, Minoru (Scheduled to retire in March 2018) SUNANO, Yui*** (Serving as a concurrent faculty member until March 2018)	
		9. Forest Meteorology and Hydrology	Understanding the water, energy and carbon cycles in a biosphere. Understanding the relationship between forest structure and meteorological condition. Understanding the mechanism of natural disasters.	OHTA, Takeshi	TANAKA, Takafumi		KOTANI, Ayumi	
	4. Biological Material Sciences	10. Timber Engineering	Mechanical durability in structural use of wood and wood-based materials, Analysis of mechanical behavior in timber structure, Quality-of-material distribution and the plan for demand and supply of forest resources, Wood utilization in urban design.	SASAKI, Yasutoshi (Scheduled to retire in March 2018)	YAMASAKI, Mariko		ANDO, Kosei	
		11. Bio-material Physics	Generation processes of growth stress and wood properties during tree growth, Growth and maturation of tropical plantation species, Analysis of reaction wood formation by molecular approach, Physical and mechanical properties of wood materials.	YAMAMOTO, Hiroyuki	YOSHIDA, Masato	MATSUO, Miyuki		
		12. System Engineering for Biological Resources	Studies on measurement system and precise mechanical process for biological resources.	TSUCHIKAWA, Satoru	YOKOCHI, Hideyuki (Scheduled to retire in March 2018)	INAGAKI, Tetsuya		
	5. Ecosystem Conservation	14. Forest Protection	13. Forest Chemistry	Studies on biochemistry of lignification, chemistry of wood extractives, chemistry of lignin, preparation of functional materials from lignin, pulp and paper science, and cellulose chemistry.	FUKUSHIMA, Kazuhiko	MATSUSHITA, Yasuyuki	AOKI, Dan	
			14. Forest Protection	Forest entomology focusing on insect-plant and insect-fungus interactions. Forest ecosystem conservation based on the management of biological communities.	HIJII, Naoki	KAJIMURA, Hisashi		TOKI, Wataru

***Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2017)

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Department	Division	Laboratory	Area of Research	Staff							
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor				
2. Biological Mechanisms and Functions	6. Biodynamics	15. Cell Dynamics	Molecular structures, reaction mechanisms, cell specificity, and physiological functions of membrane transporters, channels, and signal transducers in plants.	MAESHIMA, Masayoshi (Scheduled to retire in March 2019)	KAWACHI, Miki* (concurrent faculty member until March 2019)		NAKANISHI, Yoichi SEGAMI, Shoji***				
		16. Defense in Plant-Pathogen Interactions	Studies on the molecular mechanisms of plant immune response in plant-pathogen interactions.					YOSHIOKA, Hirofumi			
	7. Molecular and Cellular Biology		17. Applied Microbiology	Molecular and chemical genetic studies on signal transduction and gene regulation of agriculturally and industrially important microorganisms, especially filamentous fungi.	KOBAYASHI, Tetsuo	KIMURA, Makoto	KANAMARU, Kyoko	MAEO, Kenichiro HACHIYA, Takushi*** TABATA, Ryo***			
			18. Molecular and Functional Genomics	Biochemical, cellular and genetic studies on molecular mechanisms of chlorophyll biosynthesis, nitrogen fixation, circadian rhythm and phytochrome signal transduction in cyanobacteria and plants.	FUJITA, Yuichi	YAMASHINO, Takafumi					
			19. Biological Chemistry	Studies on molecular mechanisms underlying optimization of plant growth and development in response to environmental cues with focusing on phytohormone function.	SAKAKIBARA, Hitoshi	ISHIGURO, Sumie					
			20. Molecular Plant Physiology	Studies on molecular mechanisms of regulation of carbon and nitrogen assimilation and chlorophyll biosynthesis in photosynthetic organisms.	OMATA, Tatsuo						
			21. Plant Environmental Responses	Genetic, cell biological, and physiological studies on the molecular mechanism for perception and response to environmental changes in higher plants.	MORITA(TERADA), Miyo						
	8. Biofunctions Development		22. Applied Entomology	Studies on the development of insect pest management methodology via physiological and molecular approaches.	IKEDA, Motoko	MIURA, Ken	MINAKUCHI, Chieka	YAMADA, Hayato			
			23. Sericulture and Entomoresources	Molecular mechanisms of baculovirus infection, baculovirus-host interaction and antiviral responses in insects.							
			24. Fish Biology	Morphological, physiological, and behavioral studies of the brain, sensory receptors, motor systems, and peptidergic neurons in aquatic animals.					YAMAMOTO, Naoyuki	ABE, Hideki	GOTO, Maki
			25. Animal Morphology and Function	Morphological studies on nervous and reproductive tissues in mammals and birds.					HONDO, Eiichi	OHMORI, Yasushige (Scheduled to retire in March 2019)	
	9. Bioresource Functions		26. Horticultural Science	Physiological, biochemical and molecular biological approach to the mechanism of flower formation, flower opening and fruit set, growth of horticultural crops to improve their productivity.	MATSUMOTO, Shogo	SHIRATAKE, Katsuhiro		OTAGAKI, Shungo NOTAGUCHI, Michitaka			
27. Plant Pathology			Physiological, biochemical and molecular-biological researches on defense mechanisms of plants against plant pathogens, and interactions of plant pathogens and beneficial environmental microorganisms with host plants. Development of biocontrol measures and understanding of its mechanisms.	KAWAKITA, Kazuhito	TAKEMOTO, Daigo CHIBA, Soutaro*	SATO, Ikuo					
28. Soil Biology and Chemistry			Studies on the microbial population, and the chemical and biological processes occurring in the paddy field ecosystem.	ASAKAWA, Susumu	MURASE, Jun	WATANABE, Takeshi					
29. Plant Genetics and Breeding			Genetical and developmental research by biotechnological analyses with respect to evolution, morphogenesis, gene expression, and functional development of plant cultivated species.	NAKAZONO, Mikio		TAKAHASHI, Hirokazu					

* Designated Associate Professor
***Designated Assistant Professor

(as of October 1, 2017)

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Department	Division	Laboratory	Area of Research	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
3. Applied Molecular Biosciences	10. Biomodeling	30. Chemical Biology of Natural Products	Isolation, structure determination, synthesis, and modes of action of bioactive natural products that regulate biologically and physiologically intriguing phenomena. Anesthetic substances from venomous mammals, and key substances for marine symbiotic relationships. Development of new analytical methods for target molecules using fluorescent probes.	KITA, Masaki			
		31. Genome and Epigenome Dynamics	Epigenetic regulatory systems for transposons and genes in vertebrates. Epigenome regulation during germ cell development. Genome–epigenome interactions during evolution.	ICHIYANAGI Kenji			
	11. Biofunctional Chemistry	32. Organic Chemistry	Bioorganic studies on naturally occurring organic molecules possessing novel structure and biological activity: development of new synthetic methodologies, total synthesis of natural products, elucidation and control of the biofunctions.	NISHIKAWA, Toshio	NAKAZAKI, Atsuo	ADACHI, Masaatsu	
		33. Bioactive Natural Products Chemistry	Studies on identification, action mechanism, biosynthesis and receptor of bioactive natural compounds (hormones, antibiotics, etc.) produced by plants, microorganisms, and marine organisms.	OJIKAWA, Makoto	NAKAGAWA, Yu	KONDO, Tatsuhiko	
		34. Food and Biodynamics	Chemical biology of electrophilic ligands, such as lipid peroxidation products and functional food molecules.		SHIBATA, Takahiro		
		35. Polymer Chemistry	Studies on controlled syntheses and functions of biomaterials and medical polymers including artificial glycoconjugates, biofunctional polymers and environmentally friendly synthetic polymers.	AOI, Keigo	NOMURA, Nobuyoshi		
	12. Applied Biochemistry	36. Biomacromolecules	Mechanistic enzymology of pyridoxal and flavin enzymes. Physiological function of D–amino acids. Lipid biosynthesis in Archaea. Methodology for screening of useful genes from environmental microorganisms.	YOSHIMURA, Tohru	HEMMI, Hisashi	ITO, Tomokazu	
		37. Molecular and Cellular Regulation	Biochemical and molecular cell biological studies on signal transduction, intra/extracellular traffic, gene expression regulation in animal cell differentiation, growth and cell death.	MAKI, Masatoshi (Scheduled to retire in March 2019)	SHIBATA, Hideki		TAKAHARA, Terunao
		38. Molecular Bioregulation	Biochemistry and molecular cell biology on the biosynthesis and dynamics of proteins, nucleic acids and glycoconjugates in higher animal and plant bodies, and on the function of proteins and glycoconjugates in immunity, fertilization, development, and differentiation.	MATSUDA, Tsukasa	NADANO, Daita		OHSHIMA, Kenji MIYATA, Shinji*
		39. Nutritional Biochemistry	Nutritional regulation of enzyme and gene expression in mammals. Molecular mechanisms for hepatocyte differentiation in 3–dimensional culture systems. Physiological significance of liver circadian rhythm. Metabolism and physiological functions of branched–chain amino acids.	SHIMOMURA, Yoshiharu (Scheduled to retire in March 2019)	ODA, Hiroaki	KITAURA, Yasuyuki	
	13. Applied Genetics and Physiology	40. Animal Physiology	Understanding the regulatory mechanisms of circadian rhythms and photoperiodism in vertebrates. Development of transformative bio–molecules that improve animal production and human health. Studies on physiological regulation of gene expression and release of growth factors in birds.	YOSHIMURA, Takashi	OHKAWA, Taeko	NAKANE, Yusuke**	TSUKADA, Akira
		41. Animal Nutrition	Analysis of the causative genes and nutritional factors for type II diabetes and metabolic syndrome. Physiological significance of vitamin C (L–ascorbic acid). Studies on the transport mechanism of yolk precursor (e.g. IgY) in avian ovarian follicles. Physiological significance of grain feedstuffs.	HORIO, Fumihiko	MURAI, Atsushi	KOBAYASHI, Misato	
		42. Animal Genetics	Studies on molecular basis of genetic mechanisms in animals, and genome and chromosome evolution; evaluation, conservation and utilization of animal genetic resources; development of new laboratory animal models for human disease and biological functions; and understanding the genetic basis of quantitative traits .	MATSUDA, Yoichi	ISHIKAWA, Akira		YAMAGATA, Takahiro

**Designated Lecturer

(as of October 1, 2017)

Laboratories, Areas of Research, and Staff

Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

Department	Division	Laboratory	Area of Research	Staff			
				Professor	Associate Professor	Lecturer	Assistant Professor
4. Bioengineering Sciences	14. Biotechnology	43. Industrial Bioscience	Studies on functions of extracellular matrix, transporter proteins, and signal transduction.		MATURANA, Andrés Daniel	NIIMI, Tomoaki	
		44. Developmental Signaling Biology	Studies on regulatory mechanisms of biochemical and molecular processes involved in the growth and development of higher plants.	MORI, Hitoshi	ITO, Masaki		
		45. Molecular Biotechnology	Molecular bioengineering for novel biomolecules, bioprocesses and analytical processes.	NAKANO, Hideo	IWASAKI, Yugo	KOJIMA, Takaaki	DAMNJANOVIC, Jasmina
		46. Reproductive Science	Basic studies on neuroendocrinological mechanism of the reproductive system and its application to animal production and drug discovery.	TSUKAMURA, Hiroko	UENOYAMA, Yoshihisa	INOUE, Naoko	
	15. Socioeconomic Science of Bioagriculture	47. Socioeconomic Science of Food Production	Socioeconomic studies on food system, regional resource management and multifunctional roles of agriculture.		TAKESHITA, Hironobu		MIURA, Satoshi
	16. Plant and Animal Production	48. Microbes and Plant Production	Studies on functions of pathogenic and symbiotic microorganisms relating to plant production.	TSUGE, Takashi			
		49. Biodiversity and Plant Production	Studies on rice genetic diversity and the utilization of Information and Communication Technology (ICT), and these applications for breeding and crop production.		DOI, Kazuyuki		NISHIUCHI, Shunsaku
		50. Animal Production Science	Studies on regulatory mechanism of physiological functions in ruminants and its utilization for animal production.	OHKURA, Satoshi			
	17. Molecular Cell Function	51. Animal Cell Function	Studies on roles of cell surface glycan chains in the cell-cell interaction and signal transduction in fertilization, early development, neural functions and immunological phenomena.	KITAJIMA, Ken	SATO, Chihiro		
		52. Molecular Biosystem	Molecular studies on environmental adaptation in plant.	ASHIKARI, Motoyuki			
53. Plant Cell Function		Molecular mechanisms of plant growth and development, and their regulation in response to environmental signals.	HATTORI, Tsukaho	UEGUCHI, Chiharu TAKEDA, Shin			
18. Plant Genomics	54. Plant Molecular Breeding	Studies on organ development and hormone signaling in higher plants, and their application in plant molecular breeding.	MATSUOKA, Makoto	SAZUKA, Takashi			
	55. Plant Bioresource	Collecting rice genetic resources. Discovering and isolating an important agricultural genes. Molecular breeding.	KITANO, Hidemi (Scheduled to retire in March 2019)	UEGUCHI, Miyako			
19. International Cooperation in Agricultural Sciences	56. Project Development	Study on solutions for addressing agricultural problems, such as poverty, food security, and environmental issues that developing countries face by developing human resource through international cooperation.		ITO, Kasumi INUKAI, Yoshiaki			
	57. Network Development	Agronomic studies on issues relating to crop production in developing countries.	EHARA, Hiroshi	MAKIHARA, Daigo			

(as of October 1, 2017)

Examination Subjects and Instructions for Subject Choice

Title of Subject	The Contents of Subject and Instructions for Subject Choices
1 Applied Mathematics	<p>Visit the homepage of Graduate School of Bioagricultural Sciences (http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/) to see the contents of the subjects.</p> <p>Select any two subjects from No. 1 to 24.</p> <p>Applicants who major in “Biofunctional Chemistry” (Applied Molecular Biosciences) are recommended to select two subjects from Nos. 3, 4, 5, 7 and 18.</p>
2 Strength of Materials	
3 Physical Chemistry	
4 Organic Chemistry	
5 Biological Chemistry	
6 Genetics	
7 Microbiology	
8 Cell Biology	
9 Plant Physiology	
10 Animal Physiology	
11 Animal Morphology	
12 Insect Science	
13 Ecology	
14 Hydrology	
15 Soil Science	
16 Forest Resources Management	
17 Biomass Sciences	
18 Natural Polymer Chemistry	
19 Plant Production Sciences	
20 Animal Production Sciences	
21 Fish Biology	
22 Plant Protection	
23 Agricultural Economics	
24 International Agricultural Sciences	

Applicants must print subjects chosen on the application form, the ID photo card and the admission ticket for the examination.

Notice for subject choice. You can not change subjects that you have described in the application form.

平成29年度 博士課程（前期課程）外国人留学生入学試験実施状況

Admission Data (Foreign Students) for the Master's Program of Academic Year 2017

専攻 Department	志願者数 Number of Applicants	受験者数 Number of Examinees	合格者数 Number of Successful Applicants
生物圏資源学 Biosphere Resources Science	2	2	2
生物機構・機能科学 Biological Mechanisms and Functions	1	1	1
応用分子生命科学 Applied Molecular Biosciences	3	3	2
生命技術科学 Bioengineering Sciences	0	0	0
計 Total	6	6	5

平成30年度

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程(前期課程)外国人留学生入学志願票
APPLICATION FOR ADMISSION OF THE FOREIGN STUDENT INTO PROGRAM OF GRADUATE STUDY
(MASTER'S PROGRAM) BEGINNING IN APRIL 2018, GRADUATE SCHOOL
OF BIOAGRICULTURAL SCIENCES, NAGOYA UNIVERSITY

Form with fields for personal information (Name, Birthdate, Nationality), application details (Subjects, Language Preference), educational background (Schools, Degrees), and employment history.

記入上の注意 (INSTRUCTION)

- 1. 「志望専攻講座」欄には、第2志望まで記入することができる。なお、講座及び研究分野を必ず記入すること。
2. 英語及び専門科目において、日本語での出題を希望する者は「出題言語の希望」欄の「J」を、英語での出題を希望する者は「E」を○で囲むこと。
3. 住所欄は正確に記入すること。

平成30年度

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程
(前期課程) 外国人留学生

Program of Graduate Study (Master's Program) Beginning in April 2018, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

写真票 (PHOTOGRAPH)

Form for photograph application with fields for name, birthdate, application number, and department/lab preferences.

写真貼付欄 Photograph (4x3cm) 写真は正面向き、上半身、脱帽、3ヶ月以内に撮影したものであること。

筆記試験科目 (Subjects of the written examination) form with a field for specialized subjects.

(切り離さないこと) (Do not divide)

平成30年度

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程
(前期課程) 外国人留学生

Program of Graduate Study (Master's Program) Beginning in April 2018, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University

受験票 (ADMISSION TICKET FOR THE EXAMINATION)

Form for examination admission with fields for name, birthdate, application number, and department/lab preferences.

(切り離さないこと) (Do not divide)

受 験 者 心 得

1. 本票は毎日持参すること。
2. 試験の細部は、当日掲示するから注意すること。
3. 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認める。
4. 試験20分前には、指定の席につき本票を受験番号のわきに置くこと。
5. 机上には、黒色の鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムのほかは置かないこと。スマートフォン・携帯電話等の使用は禁止する。
6. 試験中は静粛を旨とし、みだりに発言しないこと。発言する必要があるときは、手を上げて合図し、監督者の許可を受けること。
7. 不都合な行為のあった者は、監督者が退室を命ずることがある。
8. 問題は、“始め”の合図があるまで見てはならない。
9. 試験開始後40分までは退室できない。それ以降は監督者の許可を得て退室することができる。
10. 大学構内では、喫煙してはならない。
11. 出願時に申請した専門科目は変更できない。

NOTICES FOR APPLICANTS

1. Have this ticket ready every day.
2. Pay attention to the details of the examination, which will appear on the notice board on the day.
3. If you are late for the examination, you will be allowed to take the examination if your delay is within 30 minutes.
4. Be seated in the appointed place 20 minutes before the examination and place this ticket near the application No. on the desk.
5. Do not place anything but a black pencil or mechanical pencil, pencil sharpener and eraser on the desk.
6. Keep quiet during the examination. If you have any questions, notify the examiner by raising your hand.
7. Applicants violating any rules may be ordered to leave by the examiner.
8. Do not look at the problems until the signal “Hajime” is given.
9. You must not leave the examination room for 40 minutes from the start of the examination.
10. No smoking in the campus.
11. Notice for subject choice. You can not change subjects that you have described in the application form.

履 歴 書 (外 国 人 用)

(Personal History for Foreign Applicants)

(フリガナ) 氏 名				性別 Sex	男・女 M・F
Name in block letters		Family Name	First Name	Middle Name		
生年月日 Date of Birth	____年____月____日 Year Month Day	国 籍 Nationality				
本国の住所 Address in Home Country						
現住所 Present Address						
学 歴 School Career			※Enter to Graduate from Primary School			
____年____月____日 Year Month Day			小学校入学 Enter Primary School			
____年____月____日 Year Month Day			小学校卒業 Graduate Primary School			
____年____月____日 Year Month Day			中学校入学 Enter Junior High School			
____年____月____日 Year Month Day			中学校卒業 Graduate Junior High School			
____年____月____日 Year Month Day			高等学校入学 Enter Senior High School			
____年____月____日 Year Month Day			高等学校卒業 Graduate Senior High School			
____年____月____日 Year Month Day	大学 University		学部入学 Enter Faculty			
____年____月____日 Year Month Day	大学 University		学部卒業 Graduate Faculty			
____年____月____日 Year Month Day	大学院 Postgraduate		修士課程入学 Enter Master's Course			
____年____月____日 Year Month Day	大学院 Postgraduate		修士課程修了 Graduate Master's Course			
研究歴及び職歴 Research career and Occupational Career						
____年____月____日 ____年____月____日						
____年____月____日 ____年____月____日						
____年____月____日 ____年____月____日						
上記のとおり相違ありません。 I affirm the above to be true.						
申請年月日 Date of Application	____年____月____日 Year Month Day	申請者署名 Applicant's Signature	_____			
		氏 名 Name in block letters	_____			

※注意事項 Remarks

- 黒インクまたは黒のボールペンで書くこと。Write in black ink or black ball point pen.
- 活字体を用いること。Use block letters.
- 固有名詞は省略しないこと。Don't abbreviate proper nouns.

領 収 証 書 (控)

(9)

生命農学研究科		平成 29 年度	第	号
(氏 名) Name in full		国立大学法人 名古屋大学		
殿		検 定 料 (Application fee)		
納 入 金 額		千	百	十
				万
				千
				百
				十
				円
			¥	3 0 0 0 0
平成 年 月 日領収				

----- (切り離さないこと) (Do not divide) -----

領 収 証 書 Receipt

(9)

生命農学研究科		平成 29 年度	第	号
(氏 名) Name in full		国立大学法人 名古屋大学		
殿		検 定 料 (Application fee)		
納 入 金 額		千	百	十
				万
				千
				百
				十
				円
			¥	3 0 0 0 0
平成 年 月 日領収しました。 印				

切
り
と
り
線

※
2枚とも、氏名のみを明確に記入して下さい。
Print only your name clearly on the two forms.

納入された検定料は、返還しません。
(No refunds will be made after the payment of application fee)